

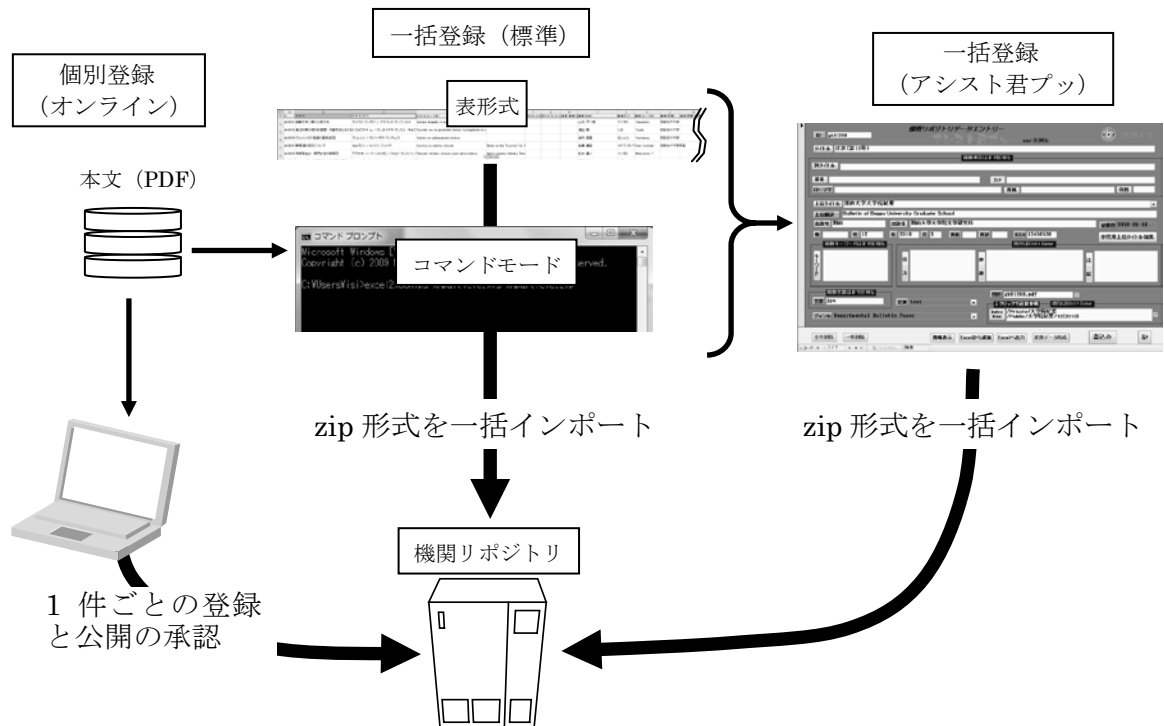
## 『アシスト君プツ』によるコンテンツ作成の効率化

－ やってみよう！一括登録 －

### 1. 登録方法比較

XooNlps Library サーバは、個別登録、一括登録、アシスト君プツ (AssistXnp) の3通りの登録方法がある。アシスト君プツは、一括登録 (標準) をシステムチェックにしたアプリケーションであり、実際にはオンライン登録とバッチ登録の違いと見ることができる。

#### 3通りの登録方法



いずれの方法でも、初めてリポジトリを公開する際に、どのようなコンテンツの公開方法を採用するかコンテンツの配列と構成を決める必要がある。XooNlps Library では、インデックス・ツリーという。一般的にインテックス・ツリーを、雑誌のタイトル・巻号ごとに階層化したサイトが多いが、組織・部局ごとに構成したサイトもあり、どのように展開するか事前に確定し、2つのインデックス・ツリーを作成しておく。

#### 2つのインデックス・ツリー

/Private . . . 未公開を含む登録ユーザーごとのアイテムが格納される。

/Public . . . /Private の中で公開中のアイテム (Nii ではコンテンツと呼ぶ)

##### (1) 個別登録

オンラインで1件1件登録する。DSpace と異なる点として、登録画面を1画面に納めている。このため、上下にスクロールしながら登録し、1件ごとに公開の許可を出す。それぞれのメタデータ (アイテム) の格納場所とインデックス・ツリーとの整合性にも注意する。

## (2) 一括登録 (標準)

Excel 上で、コンテンツを作成し、別に用意した本文 (PDF) を理化学研究所提供の excel2xoonips で処理し圧縮 (zip 形式) ファイルを作成のうえアップロードする。Excel で操作するため、一括追加や一括編集ができるが、1 行当たり 52 列長い表 (以下、交換基準フォーマットという) であるため何回も横スクロールしなければならず見通しが悪い。

また、excel2xoonips はコマンドモードで操作するため、ある程度の知識が必要である。

## (3) 一括登録 (アシスト君プツ)

一括登録 (標準) を使い易くするためアプリケーション「アシスト君プツ (AssistXnp)」を Access VBA で作成した。WindowsXP や Windows7 で実行し、LINUX サーバ、Windows サーバへの新規登録 (インポート) をすべてこの方法で行っている。

「アシスト君プツ」には以下のような機能があり、実際にアルバイト学生達に使ってもらっているが、登録作業の効率が大幅に向上したとの評価であった。(サンプルデータでの登録比較では、オンラインによる個別登録の 1/2 以下に時間が短縮された。このため、まとまったコンテンツ登録では特に有効である)

### アシスト君プツの機能

- a. 通常必要な項目を 1 画面で処理 (スクロール不要)
- b. プルダウンによる上位タイトル (雑誌名) の参照機能
- c. 直前のインデックス・ツリー取り込み (コピー) 機能
- d. 著者名カナからローマ字の切り出し  
(完全な変換アルゴリズムは不可能であるため、変換後、要確認)
- e. 著者名の句切り記号 (カンマ) 繰返し記号 (#) 及び空白の自動全角・半角変換
- f. 著者グループの繰返し整合性チェック (不整合は項目ごとにエラー表示)
- g. 項目ごとに IME の設定 (再起動時にも記憶している)
- h. xoonips アップロードファイル作成用 xexcel2xoonips をアシスト君プツ内で処理  
(コマンドモード操作が不要)
- i. 任意のフォルダに xls 形式で保存・復元 (このため、何度でもやり直しができる)

## 2. アシスト君プツでの登録の実際

「アシスト君プツ」の使用にあたって、初期設定や起動ごとの設定のほか、他の方法と同様にサーバ上でのインデックス・ツリーの設定が必要である。

### (1) 初期設定

#### ①作業フォルダの作成とパスの設定

固定したディレクトリとして、C: ドライブの直下に作業用 cnv2zip (フォルダ名固定) フォルダを作成しパスをとおす。(パスの設定後、一旦再起動する) XooNIps 研究会のサイトから excel2xoonips をダウンロードし、excel2xoonips.exe (実行ファイル) と etc フォルダをこのフォルダに格納しておく。

## ②上位タイトル（雑誌名）の設定

入力手数を軽減するため、プルダウンで選択した上位タイトルを参照し、上位翻訳、出版地、出版者、ISSNに張り付けるので、上位タイトル情報を「参照用上位タイトル編集」画面で大学の紀要・研究報告等の書誌事項を作成しておく。

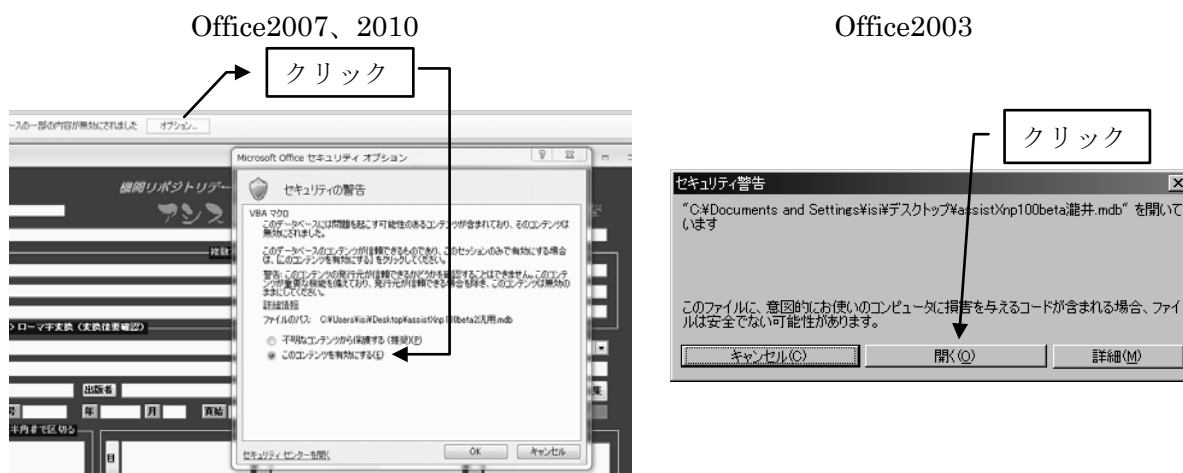
## ③インデックス・ツリーの作成

該当の場所に登録するため、XooNIps サーバに/Private と/Public の階層下にインデックス・ツリーを作成しておく。

## (2) 起動時の設定

### ①セキュリティの設定

Microsoft の VBA (Visual Basic Applications) はセキュリティチェックにかかるため、起動時にアプリケーションの実行を許可する。この時、Office2007 や Office2010 と Office2003 ではセキュリティの表示形式が異なるので注意する。



## ②漢字モード

漢字モードを使うケースが多い項目は、項目のラベル（見出し）をクリックし、漢字モードにしておくと、その都度漢字モードを切り替える煩わしさから解放される。（起動時に前回の設定が復元される）また、著者のカナから「ローマ字」ラベルをクリックすることでローマ字に変換される。（完全ではないので、誤変換があったら修正する）

## ③不要項目の設定

本文ファイル（PDF）を別途登録する場合やインデックス・ツリーを Excel 上やサーバ上で別途設定する場合は、それぞれの入力フレームのチェックボックスのチェックをはずし、入力できないようにすることができる。

## (3) 登録手順

### ①メタデータを登録

「アシスト君プッ」の画面上で必要事項を入力する。（1 回当たりのコンテンツ数は、処理時間や保守の観点からも 50 件程度以下に抑えたほうがよいだろう）

なお、著者名やカナの入力で、全角の“、”（コンマ）、“#”、空白は、自動的に半角コードに置き換えられる。

例：石井、 保廣#田中、 健二 → 石井, 保廣#田中, 健二

イシイ、 ヤスヒロ#タナカ、 ケンジ → イシイ, ヤスヒロ#タナカ, ケンジ

(カナ入力後、ローマ字ボタンを押すと・・・Ishii, Yasuhiro#Tanaka, kenji と変換され、ローマ字フィールドにセットされる)

## ②本文ファイルのセット

本文 (PDF) ファイルは、「アシスト君ブツ」で設定したファイル名 (ID+.pdf または別途設定のファイル名) の PDF を事前に作業フォルダ (cnv2zip) に入れておく。(2) の③で、不要項目と設定した場合は PDF 名を手動で入力する。

## ③アップロードファイル作成

「変換データ作成」ボタンをクリックすると、コマンドモードの excel2xoonips が起動し、作業フォルダ (C:\¥cnv2zip) に Excel 形式の xnp.xls を作る。このファイルを元に excel2xoonips.exe が自動実行され、アップロード用圧縮ファイル xnp.zip が作成される。

成功したらプロンプトのところで、“exit” と入力するか、右上の [×] で終了する。

cnv2zip フォルダに xnp.zip が作成されていない場合は、どこかに入力ミスがあるのでチェック及び修正し、再度実行する。(この時、cnv2zip フォルダに xnp.xls が作られているので一覧してチェックでき、誤りの箇所が発見し易い)

### a. アップロードファイル成功例

```

C:\¥WINDOWS¥system32¥cmd.exe
[info] Excel file "xnp.xls" was loaded.
[info] - 1 sheets found in loaded file.
[info] - 14 items found in sheet "xnparticle".
[info] Success to create XoonIps import file "xnp.zip".
c:\¥cnv2zip>
  
```

### b. よくある失敗例 1・・・Invalid Cell (Ix)

```

[info] Excel file "xnp.xls" was loaded.
[info] - 1 sheets found in loaded file.
ERROR: Invalid Cell(I12) Found in Sheet "xnparticle". Array Size Mismatch.
c:\¥cnv2zip>
  
```

Ix は I 列 (著者) の x 行 (この例では 12 行目) を示し、著者関係グループの項目で、複数著者のデリミタ “#” の数が合わない。著者に関する項目は、著者 ID、著者、カナ、所属など 8 項目あり、空白となる項目についても、複数著者の場合は、その数だけ “#” を入れる必要がある。(「アシスト君ブツ」は、“#” の数が合わない場合 Warning メッセージを出す。また、画面に表示されない著者 ID や著者外部リンク等の著者グループの項目には、自動的に “#” を挿入し整合性をとるようにしたため、今後再現なし!?)

c. よくある失敗例 2・・・Invalid Cell (BZx)

```
[info] Excel file "xnp.xls" was loaded.
[info] - 1 sheets found in loaded file.
ERROR: Invalid Cell(BZ6) Found in Sheet "xnparticle". Data Type Mismatch.
c:\%cnv2zip>
```

ここに注目(Excel 上で AZ 列 6 行目を表わす)

Invalid cell (BZx) の場合、Index Tree の不整合時に起きる。(実際には AZ 列のことであり、BZ 列は存在しないが、excel2xoonips はこのように表示する) “/” や大小文字を含めサーバのインデックス・ツリーとの整合が必要。(厳密に文字列はチェックされる) また、/Private と/Public の改行には、Ctrl+Enter キーを使わないと改行しないので注意する。

正常例 : /Private/○○○/○○○ [Ctrl+Enter]

/Pubric/△△△/△△△

(メンテナンスを考えると/Private と/Public の○と△は同一名にしておいた方がよい)

d. よくある失敗例 3・・・Invalid Cell (AWx)

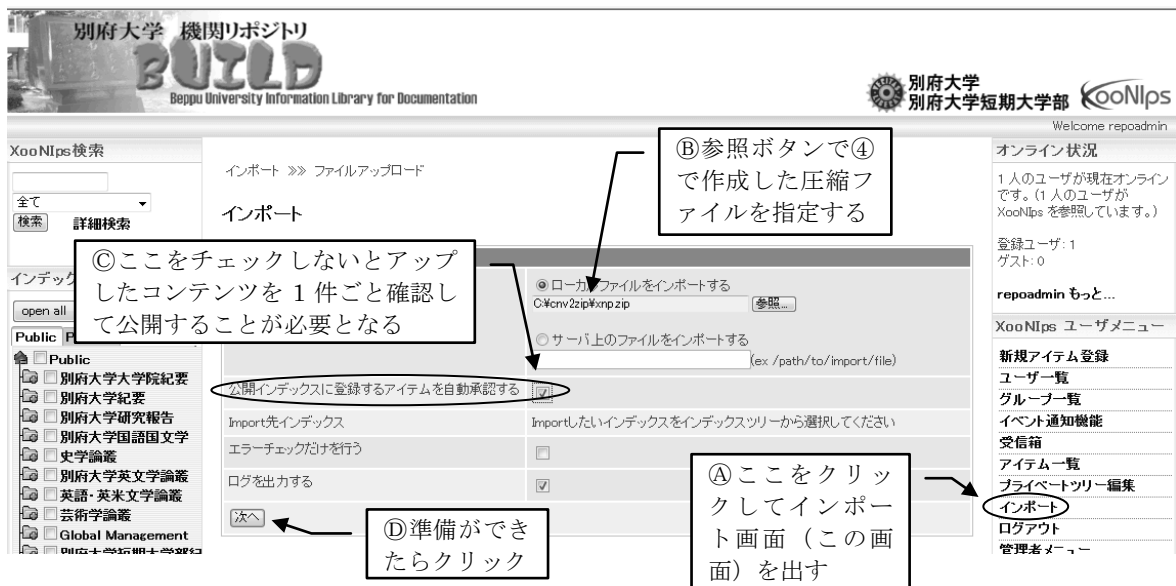
```
[info] Excel file "xnp.xls" was loaded.
[info] - 1 sheets found in loaded file.
ERROR: Invalid Cell(AW6) Found in Sheet "xnparticle". File Not Found.
c:\%cnv2zip>
```

ここに注目(Excel 上で AW 列 6 行目を表わす)

当方で、一番多い失敗例である。Excel 上の AW 列は、本文 (PDF) ファイルである。この項目の内容と作業用フォルダ (cnv2zip) にセットされた PDF ファイル名の記入ミス、PDF ファイルが無いなど不整合が起きていることを示す。

④サーバへの登録

操作権限をもつアカウントでログインし、③で作成した圧縮ファイル xnp.zip を①～④の手順で XooNIps サーバに登録する。



### 3. 保存と復元

「Excel で保存」と「Excel から復元」ボタンで、任意のディレクトリに XooNips との交換基準フォーマット（52 項目）の Excel 形式で保存や復元ができる。

### 4. 再編集

登録したコンテンツが正しくない場合は何度でも再編集ができる。注意すべき点は、すでに Nii にハーベストされたものについては、ID をもとに新規・修正・削除を判断しているようなので、ID を変更しないようにする。

#### （1）サーバ上にある修正すべきデータを一括削除する

削除の範囲は、ユーザーごとに /Private の該当フォルダごと が 1 単位となる。1 単位がまるごと削除されるため、入念な確認が必要である。

管理者（モデレータ）でログインし、管理者メニュー → [左ブロックの] XooNips → メンテナンス → アイテム管理 → アイテム一括削除 → プルダウンメニューでユーザーを指定 → [Private の] の該当インデックスを選択 → 削除ボタンを押す

#### （2）修正する

修正は、アシスト君プッ上や「変換データ作成」で、C:\%env2zip フォルダ内に作成される一時ファイル xnp.xls を参照しながら何度でも編集・登録ができる。（一時ファイル xnp.xls 上で編集し、「Excel から復元」ボタンでアシスト君プッへ復元することもできる）

2012 年 12 月 7 日  
別府大学附属図書館  
library@beppu-u.ac.jp

『アシスト君プッ』の機能説明 ver.1.00 beta2

アシスト君プッ上位タイトル編集画面

タイトル 別府大学紀要  
 別タイトル Memoirs of Beppu University  
 出版地 別府 出版者 別府大学会 ISSN 02864983

一件削除 [戻る] [前のTree] [次のTree] [進む] [保存] [ヘルプ]

クリックすると左の画面が表示され上位タイトルの編集ができる

注) ID 及びタイトルは最低限の必須項目です

ロゴや機関名は Access のデザインビューモードで適当に入れ替える (マウスの右クリックで選択)

アシスト君プッ本体登録画面

機関リポジトリデータエントリー

ID dk04915

タイトル 小規模組織におけるデジタルアーカイブのための情報収集・発信モデルの展開：シンプルな手順による機関リポジトリのデザイン

別タイトル The development of data collection and publication models for a digital archive in small institutions : 小規模組織におけるデジタルアーカイブのための情報収集・発信モデルの展開

著者 石井, 保廣 カナ イシイ, ヤスヒロ

ローマ字 Ishii, Yasuhiro 所属 別府大学文学部 役割

↑クリックでカナ→ローマ字変換 (変換後要確認)

上位タイトル 別府大学紀要

上位翻訳 Memoirs of Beppu university

出版地 別府 出版者 別府大学会

巻 号 49 年 2008 月 02 頁始 A93 頁終 A105 ISSN 02864983 記録日

複数キーワードは半角#で区切る

キーワード 情報収集・発信モデル # XOOIPS # 機関リポジトリ # XooNIps # コンテンツマネージメントシステム # メタデータ # MODS # OAI-PMH # ハーベスト #

目次

複製言語は半角#で区切る

言語 jpn

PDF dk04915.pdf

資源 text

ジャンル Departmental Bulletin Paper

Index tree /Private/大学紀要類 /Public/大学紀要類

全件削除 一件削除 簡略表示 Excelから復元 Excelで保存 変換データ作成 [戻る] [前のTree] [次のTree] [進む] [保存] [ヘルプ]

グレーのラベルをクリックするとブルー (Office2007 以上)、入力枠はピンクに変わり漢字モードとなる (対応ラベル: タイトル、別タイトル、著者、所属、役割、上位タイトル、出版地、出版者、キーワード、目次、抄録、注記)

ラベルをクリックするとカナからローマ字変換する

本文のファイル名として、「ID +.pdf」名が付与されるが、変更も可能である (ここで設定しない場合はチェックをはずす)

全件及び一件の削除ボタン (確認メッセージが出る)

主要項目を表形式で一覧

保存していた Excel 形式のメタデータから復元する

任意のディレクトリに Excel 形式で保存する

理化学研究所提供の XooNIps アップロードファイル (zip 形式) 作成用コマンドモードプログラムの実

カナモード固定

プルダウンで選択した上位タイトルの属性 (別タイトル、出版情報、ISSN) が該当フィールドに表示される (キーからの入力もできる)

クリックすると直前の Tree をコピー

新規登録分は本日の日付が自動的に入力される

インデックスツリーを入力する (ここで設定しない場合はチェックをはずす)

終了して Windows にもどる

画面上のデータを書き込む (このボタンを押すと次のレコードに移る)